新城開府450年
―新城のまちのはじまり―
第33回全国山城サミット新城大会開催

期間
11月28日（土）
29日（日）
場所
新城文化会館

長篠・設楽原の戦いがあった翌年、天正4年（1576年）、長篠城主奥平信昌（おくだいらのぶまさ）によって郷ケ原に新たな城が築かれました。

これが「新城城」の誕生です。

当時、郷ケ原には何もなく、一面草原が広がるのみであったとも言われています。信昌は居城を築くとともに、「新城城」を中心とした新たなまちづくりを始め、それが連綿と現在に続いています。

そして、今年（令和8年）は、この地に新城城が築かれた「新城開府」からちょうど450年という大きな節目を迎えました。

これを記念して、「第33回全国山城サミット」新城大会を開催します。

問合せ 歴史文化課（TEL23-7610）
ホームページID 480356595

奥平信昌（おくだいらのぶまさ）の肖像画▶
（自性寺所蔵）

第33回 全国山城サミット新城大会

講演者インタビュー 新城の歴史をもっと楽しむために

新城開府450年を記念して開催される全国山城サミット新城大会。
講演を予定している小和田哲男氏（静岡大学名誉教授）に、
新城の歴史や山城の魅力、講演の見どころについて伺いました。

小和田哲男氏（今井一詞 撮影）
歴史番組での解説や時代考証、書籍・講演などを通して、戦国史の魅力を分かりやすく伝えています。

インタビュー

Q1 新城開府450年を迎えることには、どのような意義がありますか？

今から450年前というと、ちょうど戦国時代の真っ只中です。戦いの連続で、田畠は荒らされ、家は焼かれ、人は殺され、悲惨な状況が何年も続いていました。その戦国時代に終止符を打とうとして動いたのが織田信長・豊臣秀吉・徳川家康のいわゆる「天下取りの三英傑」です。この三人と新城の関係を追いかけることに意味があります。

Q2 新城ならではの歴史や山城の魅力を教えてください。

歴史で特筆されるのは、やはり、織田信長・徳川家康連合軍と武田勝頼が戦った長篠・設楽原の戦いです。「戦国10大合戦」にカウントされているわが国の戦国合戦を代表する戦いです。そして、その戦いに関係する城や砦も多く、また、遺構もよく残っていて、中でも古宮城は城の縄張研究者にも注目されている城です。

Q3 今回の講演では、どのようなお話をされますか？

新城市を含む「三遠南信」と呼ばれる地域の戦国時代、武将たちがどのように動いたのかについてお話しします。日本全体の戦国史の中で、「三遠南信」の歴史的位置付けを試みる予定です。合戦史だけでなく、庶民生活史にも話を広げたいと考えています。

Q4 市民の皆さんへメッセージをお願いします。

歴史を振り返ることは、単に昔を懐かしむものではありません。昔の人は、「歴史は鏡である」と言っています。歴史書のタイトルが「大鏡」、「増鏡」などとなっているのはそのためです。「過去を鏡に映し、未来を照らす」という意味です。未来のために過去があると考えていいと思います。

「新城は、歴史を『学ぶ』だけでなく、『歩いて感じられる』まちです。」

全国山城サミット

全国山城サミットは、全国の山城がある市町村などが情報交換を通して親睦と交流を深め、山城の保存方法や観光資源としての山城を生かした地域の活性化を図り、潤いのある豊かなまちづくりを進めていくことを目的として設立されました。

平成7年度に全国山城サミット連絡協議会が組織されました。事務局は兵庫県朝来市（竹田城跡）が担い、加盟自治体は108団体、172城（令和5年11月18日現在）、新城市（亀山城）は平成23年に加盟しました。

なぜ新城で開催するのか

新城は、長い歴史の中で多くの山城が築かれ、今もその面影が残るまちです。新城開府450年の節目に、全国の山城ファンをお迎えし、新城の歴史と文化を全国へ発信します。

さあ、全国山城サミット新城大会へ行こう！

山城サミット新城大会 第1日目（大ホール）
11月28日（土）

13:00	オープニング式典
13:15	オープニングアクト ◆鳳来中部小児童発表 ◆長篠陣太鼓
14:00	◆基調講演 小和田哲男（おわだてつお）氏 「三遠南信の戦国時代 今川・武田・徳川の戦い」
15:30	◆シンポジウム 千田嘉博（せんだよしひろ）氏・平山優（ひらやまゆう）氏 「東三河の山城 新城を中心に」
17:00	サミット宣言・次期開催地挨拶

山城サミット新城大会 第2日目（文化会館ほか）
11月29日（日）

8:30	お城探訪ツアー（要申込） ①新城城コース（徒歩） ②作手山城コース（バス） （10月1日㈭申込み開始）
10:00	◆山城サミット新城大会開催 記念音楽祭〈大ホール〉 ◆ブース出展 〈展示室・大会議室〉 ◆山の湊ミニ軽トラ市 〈はなのき広場〉
11:00	火縄銃演武〈はなのき広場〉
11:30	新城伝統芸能紹介「祭礼能」 〈小ホール〉
13:00	◆記念講演 柴裕之（しばひろゆき）氏 「戦国期奥平家の動向と信昌・亀姫」 （要申込・有料、10月1日㈭申込み開始） 〈小ホール〉
14:45	◆火縄銃演武「山城サミット盛会礼射」 〈はなのき広場〉

◆申込みなど、詳しくはホームページをご確認ください。
◆当日は記念グッズなども販売します。

クラウドファンディング型 ふるさと納税による寄附募集

「第33回全国山城サミット新城大会」へ多くの皆さんにお越しいただき、楽しんでいただけるようクラウドファンディング型ふるさと納税による寄附を10月31日㈯まで募集します。ご寄附はシンポジウムやブース出展、お城探訪ツアーなどに大切に使わせていただきます。皆さんのあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いします。

▲詳しくは コチラ

新城の歴史を未来へつなぐ大会です。
皆さんのご来場を心よりお待ちしています！

挿絵：新城街繁昌之図を改変

誰もが活躍できる地域へ

10月は愛知県男女共同参画月間です

問合せ 市民自治推進課（℡23-7697）

皆さんは「区長」と聞いてどんな姿を思い浮かべますか。

男性、地域に詳しい人、それとも高齢の方――そうしたイメージを持つ方が多いかもしれません。でも、区長は必ずしも男性や高齢者でなければならないわけではありません。

誰もが活躍できる地域を目指して、この機会に考えてみませんか。

本市には、現在134の行政区があり、それぞれの地区に区長がいます。今年は、5人の女性が区長に就任しています。

今回は、区長を務めて感じたことや課題などを令和7、8年度の2年間、岩波地区の区長を務められる安藤さんにお聞きしました。女性区長の目線を実際の声を通して皆さんにお伝えします。

岩波区長　安藤 直美（あんどう なおみ）さん

きっかけは？

高齢化が進み、区の役員を引き受けられる人が少なくなってきたため、性別に関係なく、できる人がやるしかない状況になり、手を挙げました。本当は令和7年度だけの予定でしたが、1年では手探りでこなすだけになってしまい、「もっとこうすればよかった」という思いが残りました。そこで、もう1年務めたいと申し出て、令和8年度も区長を務めることにしました。

仕事内容は？

区と市との連絡調整や、広報紙の配布などを行っています。他には、台風で倒れた塀や土砂の対応の要望をまとめ、市に提出しています。岩波区は軒数が少ないので、そこまで大変ではありませんが、軒数が多い地区は大変だと思います。

岩波区の人口と世帯数
（令和8年8月1日）

	日本人	外国人
男　性	18	0
女　性	18	0
世帯数	22	0

＼女性の活躍を目指し／

「女性人材バンク」に登録しませんか

女性ならではの新しい視点や感性を活かし、多様な意見を市政に反映させる仕組みです。
本市は各種審議会などの委員を選ぶ際に、この人材バンクを参考として活用しています。女性の審議会などへの登用率は3割もありません。ぜひ登録してください。

本市の女性の審議会などへの登用率

令和4年度	25.44%
令和5年度	25.68%
令和6年度	25.16%
令和7年度	25.27%
令和8年度	26.08%

条件はありますか？

区長になるための特別な資格や性別による制限はありません。慣習や役割分担が残っている地区、祭礼の役員を兼ねるために男性が務めることが多い地区、慣行として世帯主が務める地区もあるようです。その結果、男性区長が多くなってしまうのかもしれませんね。

農協の女性部など、さまざまな分野で活躍されている方が多くいらっしゃいます。区長の仕事には面倒な作業もありますが、特別難しいものではなく、工夫や省力化により負担を減らすことで、誰でも務められる仕事だと思います。

女性の区長数

令和4年度	0/136人
令和5年度	1/136人
令和6年度	1/135人
令和7年度	1/135人
令和8年度	5/134人

不安はありましたか？

副区長の経験はありませんでしたが、区長就任時に、特別な不安は感じませんでした。前任者がどのように地域運営をしていたかを見てきたので、日常的な業務の流れや区民の皆さんとの関わり方を理解しており、引き受ける決意ができました。また、地域性もあり、自分でも役割を果たせるだろうという自信につながりました。

改善・改革はされましたか？

以前から、区の業務負担を減らすため、見直しを皆で検討し、実施してきました。例えば、集会所の掃除を毎月実施していましたが、他の集まりの際にまとめて行うことにしました。住民同士が顔見知りで協力的なため、改善は進めやすいと感じています。

女性区長が少ない理由は？

市内に長く住んでいる方が多いので、結婚で市外から来られた女性が区長になるハードルは高く感じるかもしれません。一方で、PTAやこども園の保護者会などで女性が積極的に関わっている場面も見られます。本当は参加したいと考えていても、家事・育児・介護など、家庭内の役割があるために立候補しづらいという事情もあります。

そのため、家事や育児の負担を家族で分担する仕組みを整えることや、会議の時間や開催方法を見直して参加しやすくすることも大事です。例えば、夜間だけでなく日中や土日に開催する、会議の回数を見直すといった工夫もできるのではないかと思いました。外で活動したい人が安心して参加できる環境が整えば、みんなが活躍できると思います。

本市の取り組み紹介

パネル展示「Quiz 増えている？男の育児・介護」

期間▶10月1日㈭～30日㈮
※30日㈮は13:00まで
場所▶市役所1階情報カフェ

しんしろ男女共同参画フォーラム

今年度は女性区長にご協力いただき、フォーラムを開催する予定です。

日時▶12月6日14:00～(予定)
その他▶詳しくは11月号で案内します。

誰もが力を発揮できる地域へ

高齢化や共働きの増加など、地域の担い手が減少しています。性別に関わらず、一人一人が力を発揮できるまちをつくっていきましょう。

今後、ますます少子高齢化が進むことから、男女共同参画月間を機会に、女性区長について考えるきっかけができました。家族の協力や地域全体で考えて協力することが、「誰もが力を発揮できる地域」につながると感じます。「男女共同参画社会」を実現するためには、一人一人の取り組みが必要です。